

## I C T 授業活用教育実践

対 象	特別支援 小学部5年
教科・科目	生活単元学習
単 元	買い物学習
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフレジの手順を覚え、買い物ができる。</li> <li>・タブレット端末などで手順書を確認しながら、買い物をする事ができる。</li> </ul>
I C T 環境 (授業で使った機器)	iPad (生徒用3台) , 大型モニタ, 無線 LAN ルータ, AppleTV
利用したデジタル教材 (アプリ, サイトのアドレス, 資料など)	カメラアプリ (iPad 標準) Keynote (iPad 標準)
授業での I C T の活用方法 と手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 事前に keynote に買い物の手順書とセルフレジの画面を作成しておく。</li> <li>② 授業時には AirPlay を利用して, 大型モニタに接続し, 授業の内容を提示する。</li> <li>③ 買い物の場面では, 大型モニタに手順書を提示し, 待っている児童が見通しをもてるようにする。</li> <li>④ セルフレジの液晶部分にタブレット端末を設置し, 画面の案内に沿って買い物を行う。買い物の様子を別のタブレット端末で撮影し, 振り返りを行う。</li> </ol>
授業の工夫 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に関するクイズを出し, 興味・関心をもって授業に取り組めるようにした。</li> <li>・買い物が一人で進められるように, keynote で買い物の手順書と, 音声出力付きのセルフレジの模型を作成し, イメージをもちやすいようにした。</li> <li>・買い物をしているときに, 大型モニタに買い物の手順書を表示した。</li> <li>・買い物の場面を動画で撮影し, 振り返りができるようにした。</li> </ul>
児童の様子	タブレット端末で作成した手順書を活用することで, 一人で買い物をする事が困難な児童がスムーズに買い物をする事ができた。セルフレジでは画面の指示を見て金銭を入れたり, レシートを受け取ったりする事ができた。

## 実践例

配当時間		学習の進め方	指導のポイント
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始めの挨拶               <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めの挨拶をする。</li> <li>・本時の内容を確認する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢を正し、全員が注目してから、挨拶をする。</li> <li>・指導者に注目できるようにする。また、言葉かけをしてよい姿勢がとれるように促す。</li> </ul>
展開	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示された活動の順序を見る。</li> </ul> </li> <li>○買い物の手順の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型モニタの映像を見て、クイズ形式で買い物の方法を確認する。</li> <li>・正しい買い物の手順を知る。</li> </ul> </li> <li>○買い物体験               <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示した順番に買い物をを行う。</li> <li>・店員役、客役に分かれて順番に行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもてるように、本日の活動内容を黒板に掲示する。</li> <li>・効果音をつけ、楽しい雰囲気で行う。</li> <li>・手順が分かりやすいように写真を提示する。</li> <li>・大型モニタに手順書を提示し、待っている児童が見通しをもてるようにする。必要に応じて買い物をする児童に手順書を提示したり、指導者が補助をしたりする。</li> <li>・立ち止まったり、違う行動をしたりしているときは手順書を提示し、次の行動を確認できるようにする。</li> </ul>
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返り・挨拶               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が買い物をしている動画を見て、振り返りを行う。</li> <li>・終わりの挨拶をする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順どおりできていたら、黒板の顔写真に花丸を描く。</li> <li>・姿勢を正し、全員が注目してから、挨拶をする。</li> </ul>

## 評価

児童について	児童の興味・関心	セルフレジや自分自身の買い物場面の映像に興味をもち、意欲的に授業に参加することができた。
	児童の理解	大型モニタやタブレット端末の画面を見て、買い物の手順を理解して活動することができた。
	児童のICTの活用度	セルフレジのタブレット端末を操作して、買い物ができた。
授業について	事前準備の難易度	Keynote の操作方法が理解できていれば難易度は低い。
	指導者にとっての授業展開の難易度	実態の異なる児童に合わせた支援方法を考える必要がある。
	授業の「ねらい」の設定は適切であったか	金銭の扱いやセルフレジの使い方を学ぶことができ、ねらいは適切であった。
	効果的な指導方法であったか	児童が立ち止まったときに、次にすべき行動を提示することで、進んで買い物ができ、効果的だった。

### <実践の感想及び反省点等>

セルフレジでの買い物は初めてであったが、大型モニタやタブレット端末で手順書を確認できるようにしたことにより、児童は迷わずに買い物ができ、効果を感じることもできた。また、実際に近い状況で買い物学習をすることも見通しをもつために効果があった。タブレット端末の使用については指導者が近くで補助を行ったが、今後は児童一人で操作できるような場面設定をしていきたい。